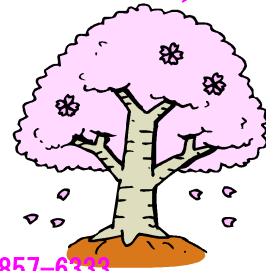


衣笠山からの便り

第115号 令和6年6月15日発行
発行元 社会福祉法人心の会 理事長 若山 三千彦
住所 〒238-0026 横須賀市小矢部4-19-4
電話 046-850-3301 (法人本部)
ファックス 046-852-4040



◎さくらの里 (デイサービス・ケアマネ) 小矢部 4-19-4 TEL852-0500
◎さくらの里山科 (特別養護老人ホーム・ショートステイ) 太田和 5-86-1 TEL857-6333
◎さくらの家二番館 (高齢者グループホーム) 小矢部 4-15-8 TEL850-3125
◎さくらの家三番館 (高齢者グループホーム) 小矢部 4-15-7 TEL850-5688
★さくらグループHP <http://sakura2000.jp/>
◎あすなろ学苑 (障害者就労継続支援B型事業) 小矢部 4-19-4 TEL852-0600
◎あすなろの家 (知的障害者グループホーム) 第1・2・3・5・8 横須賀市内 TEL852-1221 (第3あすなろの家)
◎相談室あすなろ (衣笠障害者相談サポートセンター) 公郷町 2-7-19 ヨウ衣笠ビル1階 TEL853-3415
★あすなろ学苑HP <https://asunarogakuen.com/>
◎まちの診療所つるがおか (地域支援型診療所 内科在宅診療部他) 鶴が丘 2-3-9 TEL825-5121

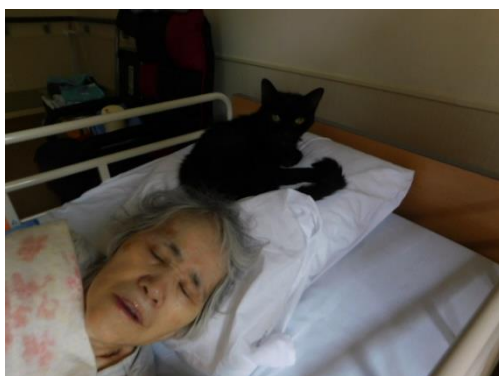
年始は別れの季節 大喜は虹の橋へ

さくらの里山科で12年を過ごした保護犬

特別養護老人ホームさくらの里山科で12年間暮らしていた大喜が、3月27日に虹の橋へ旅立ちました。保護犬出身なので正確な年齢はわかりませんが、推定年齢をもとに、享年16歳と決めました。

大喜はとても凛々しい顔立ちで、クールなイケメンワンコとして職員に人気でした。

年始は旅立つペットが多く、1月にはさくらの里山科のサンタと、さくらの家三番館のマルコが亡くなりました。昨年の初めは、1月にチロ、2月にかっちゃん、3月にタイガと続いて亡くなっています。一昨年の1月には、ナナが亡くなりました。心の会にとって年始はペットの別れの季節なのかもしれません。



ペットと暮らせる特養から

クロの新しいパートナー

保護猫出身のクロは、若い頃はツンデレでしたが、歳をとったら人恋しくなり、ご入居者様のお部屋で暮らすようになりました。この春から3人目のパートナーさんと仲良く過ごしています。

法人施設活動報告：さくらの里ケアマネジャー



訪問介護の使い方②

ケアマネ部門管理者（主任）・神田恵美子



訪問介護サービスの内容は、大きく分けると、身体介護と生活支援の2種類があります。身体介護はオムツ交換などの直接的な介護です。生活支援は、ご高齢様ができない家事を行うことです。

生活支援の一つに掃除があります。ホームヘルパーの主要な業務の一つだと言えます。しかしホームヘルパーは介護のプロであり、掃除のプロではありません。あくまで、ご高齢者様の生活を支えるために掃除等の家事を行っているのです。従って、窓掃除や換気扇掃除、庭掃除、家族の部屋の掃除など日々の生活を維持するのに必要のない清掃を依頼することは出来ません。大切なことなのでご理解願います。

法人施設活動報告：さくらの家

高齢者グループホーム
二番館、三番館



ご入居者様が調理しています

お二人のご入居者様が仲良く揃って、玉ねぎを剥いています。これは特別なイベントの光景ではありません。毎日の光景です。さくらの家のご入居者様は、毎日、調理や掃除などの家事を行っています。日常生活を営むことで認知症の進行を予防する。このグループホームの理念を実践しているという点では全国トップレベルだと自負しています。



法人施設活動報告：さくらの里デイサービス



4年ぶりにカラオケ再開

コロナ禍のため4年近く中止していたカラオケをついに再開しました。歌好きのお客様から歓喜の声が上がっています。感染予防のため、1回ごとにマイクを消毒し、お客様にはマスクをつけたまま歌って頂きます。マスクをとって大声を張り上げて頂く事はできませんが、それでも、やっと歌うことができると、皆さん喜んでくださいました。

法人施設活動報告：さくらの里山科

特別養護老人ホーム
ショートステイ



母の日のプレゼント 特養ホーム

5月の母の日には、大勢のご入居者様のもとに、ご家族様から、素敵なプレゼントやお花が届きました。離れていてもご家族様との絆は失われていないことと、幾つになっても、お母さんはお母さんであることが感じられ、職員一同嬉しくなっていました。



今宵も夫婦で乾杯 ショートステイ

毎月ご夫婦でご利用下さるお客様。ご利用中も、夕食の時は晩酌付きです。日本酒のおちょこで乾杯！長年連れ添ったご夫婦ならではの絆が感じられる風景です。見ている職員も笑顔になっていました。



法人施設活動報告：相談室あすなろ

衣笠障害者グループホーム
相談室あすなろ



特別支援学校との連携

室長：岸川江利子

私共が主催している自主活動グループ「ぱっぴー」が4月11日土曜日、「すかGOMI 第1回クリーンよこすかCUP」に出場しました。「すかGOMI」とは、クリーンよこすか市民の会主催のイベントです。ゴミ拾いにスポーツの要素を盛り込み、皆で楽しみながら競い合う新しいゴミ拾いイベントで、チームで力を合わせ制限時間内に指定エリア内で回収したゴミの量をポイント化し、競い合うものです。



「ぱっぴー」も開設から年月が経ちましたが、「ぱっぴー」というグループでイベントに出場するのは初めてでした。残念ながら順位は…ですが、社会と繋がりがなく数十年経過した方が、このイベントに参加し活躍している姿は、感慨深いものでした。相談員との信頼関係をしっかり築き、仲間ができ、社会とつながっていけるよう見守っていきたいと思います。

今年度は、お一人おひとりとしっかり向き合いつつ、更に横須賀市障害者相談支援の拠点として、増々地域の方々とつながりを作っていければと考えています。宜しくお願い申し上げます。

法人施設活動報告：あすなろの家

知的障害者グループホーム

第一（小矢部）・第二（小矢部）
第三（小矢部）・第五（若宮台）
第八（太田和）



とんかつ作り 第2 あすなろの家

第2 あすなろの家で楽しみメニューを行いました。今回はとんかつ！「とんかつが食べたい」というご入居者様のご希望で皆でとんかつを作りました。エプロンにバンダナをつけて、皆さんやる気満々です。とんかつの下処理から、衣付け、油で揚げると一緒に行いました。とんかつのカットもこだわりの幅に切って、ご自分好みに仕上げる事ができました。皆で食卓を囲み、美味しい言葉と笑顔が飛び交いとても楽しい時間を過ごす事ができました。



法人施設活動報告：あすなろ学苑

就労継続支援B型事業



焼き菓子・お弁当をご配達

あすなろ学苑では、パン・焼き菓子・お弁当・ジャム等の食品製造を行っております。特に当苑自慢の焼き菓子・ジャムは11回もの食品コンクールの受賞経歴がある実力派です。

コロナウィルスの感染が落ち着き、会議用お弁当の注文や町内の体操教室参加者に配布するパン、企業のノベルティーとして焼き菓子やジャムのギフトを配布する等の受注が拡大しております。

なお、以下の条件に該当すれば、配達サービスも行っております。是非ご用命くださいませ。

- ・横須賀市内（車が乗り付けられる立地）のお届け先
- ・ご注文1万円以上
- ・配達時間は平日10時～16時まで
- ・ご注文は納品日の10日前まで（大量注文の場合は2週間前まで）





季節の変化と体調管理の基本

副院長：白井輝

7月1日からの新体制

水曜日の午前中の外来を再開します

毎年この季節、燕が飛び交い、巣作りに励み、そして巣立っていくのを見ると、生命現象と季節が密接に関わりあっていることをつくづく感じます。春夏秋冬の季節の移ろいにともない、日照時間や気温湿度など、自然環境は刻々と変化します。動物は環境の変化を感知して繁殖、渡り（移動）、冬眠、換毛など、様々な順応行動や種族保存に必要な適応行動で対応していますが、動物が季節の変化を感知する仕組みは未だに生命の不思議さの中に隠されていて充分には解明されていません。

私たちが経験する季節の変わり目の不調にはめまい、倦怠感、頭痛、食欲不振など色々あります。その背景には、生命の歴史の中で永年培われた大自然の環境変化に適応するための歯車と、人類が短期間に築き上げた文明社会における環境変化に適応するための歯車との間で生じる“摩擦”が、様々な形でのストレスとなり、自律神経やホルモン調節の乱れを生じ、その結果として様々な形で体の不調となって現れてくるとも考えられます。

このように考えると季節の変わり目の体調不良への対策としては、出来るだけ自然環境を大切に生活習慣を取り戻すことが大切なことと思われます。大自然のリズム（昼夜や四季の変化）に合わせた生活リズムを維持していく努力、そのためにはバランスの良い季節感のある規則正しい食生活を心掛けること、適度な屋外での運動をすること、質の良い十分な睡眠を取ることも等が重要となるかと思います。季節の変わり目に苛まれるのではなく、季節の移ろいを愛で味わう豊かな心を養いたいものです。

外来診療体制						
時間\曜日	月	火	水	木	金	土
9時～12時	○	○	○	○	○	△
15時～18時	×	×	×	×	○	×

※第1・第3土曜日の午前中は外来が開いております。

ご寄付の御礼とお願い

3月～5月の3ヶ月で、多数のご寄付を頂きました。貴重なご寄付ありがとうございました。

- ◎17名様から合計1,700枚以上の紙マスクを頂きました。
- ◎10名様から合計1,500枚以上の使い捨て手袋を頂きました。
- ◎24名様からペットフード・用品、供花のご寄付を頂きました。
- ◎13名様からタオル、オムツ、家具、衛生用品、食品等を頂きました。
- ◎16名様から合計824,785円のご寄付を頂きました。



*複数回ご寄付を頂いた方、お一人で数種類のご寄付を下さった方は、重複してカウントしております。ご了承下さい。

※紙マスクと使い捨て手袋が不足しております。ご寄付頂けると助かります。よろしくお願い致します。使い捨て手袋は、ゴム製又はニトリル製で、Mサイズ又はLサイズの物をお願い致します。

※ご寄付は次の口座へのお振込みにてお願い致します。

① みずほ銀行 衣笠支店 普通口座 口座番号：1956146
口座名義 社会福祉法人心の会

② ゆうちょ銀行 口座記号：00280-5 口座番号：0048529
口座名義 社会福祉法人心の会

※ご寄付金については領収証をお送りしますので、法人本部までお知らせ頂ければ幸いです。
社会福祉法人の寄付領収証は確定申告等にご利用頂けます。



よこすか犬と猫の病院

広告

診療時間 月～日(年中無休) 9時～12時、16時～19時 救急対応 21時～翌朝5時
横須賀市佐原 1-10-3(フジスーパー佐原店近く) 電話046-827-6092

さくらの里山科、さくらの家、あすなろ学苑がそれぞれのブログで日々の様子をアップしています。
理事長の若山三千彦が、読売新聞の福祉サイト『ヨミドクター』で、毎月第1月曜日にコラムを連載中です。
さくらの里山科の本『看取り犬・文福』宝島社・定価1,430円(税込み)好評発売中
『犬が看取り、猫がおくる、しあわせのホーム』光文社 1,760円(税込み)好評発売中